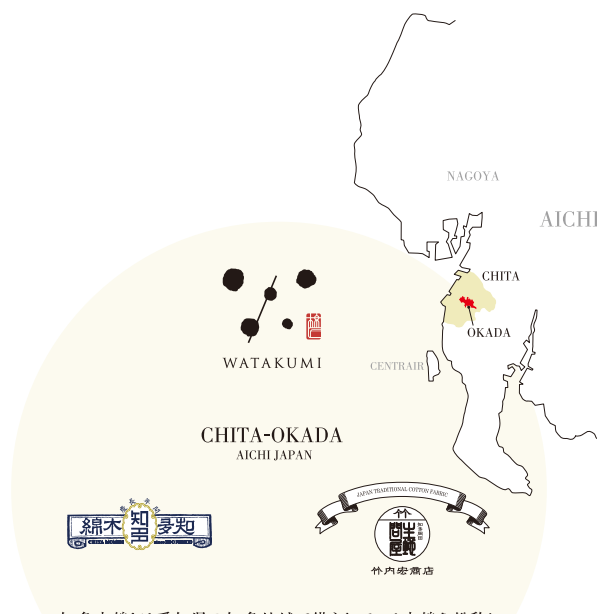




知多木綿とは愛知県の知多地域で織られている木綿を総称して呼ぶ生地の名称です。歴史は古く、慶長年間（1596～1615）に江戸送りが始まったと伝えられています。そのころから知多木綿は「白木綿」として高い評価を得てきました。現在も小巾から広巾と、日本のみならず世界の衣料素材を支える一大織物産地として、日本文化に欠かせない良質な木綿生地を織り続け伝統美を支えています。

有限会社 竹内宏商店

愛知県知多市岡田字高見21
phone : 0562-55-3239
<https://shirushi-zome.jp/>

知多木綿アンテナショップ 478

愛知県知多市岡田開戸28-1
phone : 0562-55-3239
<https://watakumi.jp/>

棉 + 匠 = WATAKUMI

C H I T A - O K A D A A I C H I J A P A N



生地名 上特文 [20番]

ボタン 木のぬくもりを感じられるウッドボタン。
黄色で色づけされた部分も主張し
すぎず、白シャツを引き立たせます。



生地名 上特文 [20番]

ボタン ボタンと言えば丸のイメージが強いですが、落ち着いたスクエアの黒蝶貝ボタン。表面の光沢にも品があります。



生地名 上特岡 [30番]

ボタン 楕円のカタチをした貝ボタン。縦につけても、横につけてもどちらでも
楽しめます。



生地名 上特岡 [30番]

ボタン 貝ボタンの中でも珍しい脚付きのボタン。表面のツヤや光沢が1つ1つ違うのも魅力です。



Cotton
+
Finesse

知多木綿の可能性を
最大限に引き出し伝えること。
それが私の天命

優秀なデザインを施すクリエイターは、世の中に数多く存在します。しかしながら、素材の魅力を、地域・歴史・未来という側面から、三日三晩でも語り続けられるクリエイターといえば・・・

私は、創業者である祖父の薫陶を受け、生まれ育った知多市岡田で、木綿を扱うことを生業にしてまいりました。

「もっと木綿の魅力を多くの人に知ってもらいたい」

そんな閃きではなく内なる声から導き出された想いが、「知多木綿」の魅力を引き出した白シャツという挑戦でした。

そんな魂の籠った白シャツに、あなたも袖を通してみませんか。

クリエイティブディレクター
竹内 亮
RYO TAKEUCHI
(有限会社竹内宏商店三代目、
木綿生地ソムリエ)

PROFILE [プロフィール]

1975年竹内宏商店三代目として、知多木綿のふるさと愛知県知多市岡田に生まれる。

幼少期より、歳の中に敷き詰められた木綿の上によじ登り、知多木綿の芳醇な香りと柔らかな肌触りに包まれながら、知多木綿と生き続ける覚悟を育む。

多岐にわたる実務経験を重ねることで、全国の手染め印染職人とのネットワークを形成。

経営理念「一糸を以て和を紡ぐ」を体現すべく、木綿の普遍的な価値向上に邁進中。

生地、ボタンへのこだわり

WATAKUMI

昔ながらの製法にとことんこだわり、手織りの風合いに一番近いシャトル織機で織った、生地幅が38cmしかないオリジナル木綿を使用。

ベースの浴衣生地をシャツ用に改良するために糸の撚りと打ち込み本数を工夫し、絹のようななめらかな着心地のよさを追求しました。

またシャツの仕上がりを印象付けるボタンは、ボタン専門店「kususu」監修のもと、それぞれのコンセプトと生地に合わせてベストマッチをセレクトしています。

大量生産品には出せない味わいと細部にわたりこだわった、ワンランク上のおとなの白シャツをお楽しみください。

●ボタンの監修 / ボタン専門店 kususu [ボタンの可能性と新たなご提案、新しい素材への挑戦] をコンセプトに世界中からボタンを買い付け取り扱うボタンの専門店

<https://watakumi.jp/>